

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ア	国際感覚を身に付ける教育の推進	施策	②多様な国際交流及び国際理解教育の推進
			施策の小項目名	○国際理解教育の推進・充実
主な取組	国際協力レポーター事業（おきなわ国際協力人材育成事業）		対応する成果指標	海外との交流活動等を行っている高等学校数
施策の方向	<p>・グローバルな現代社会においては、多様な文化、価値観を持つ多種多様な人々との接点が多くなることから、多様な文化、価値観を正しく理解して、相手を尊重する国際理解教育の推進に取り組みます。外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖縄等との連携、海外との文化交流等を通じて、異なる言語や文化等について理解を深め違いを尊重する国際理解教育の充実と外国語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った、将来の本県の国際協力を担う人材の育成を目的として、国際協力理解促進事業(出前講座)を実施する。	県	開発途上国等の国際協力活動現場等に高校生を派遣		
		高校生の開発途上国等への派遣人数(累計)		
		11人	39人(50人)	39人(89人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業			予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	24,403	24,956	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	28,066
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国際協カレポーター事業として県内高校生11名を海外に派遣した。				国際協カレポーター事業として県内高校生15名程度を海外に派遣する。		

活動指標名	高校生の開発途上国等への派遣人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0人	38人	11人	11人	100.0%	順調	国際協カレポーター事業は、計画どおり県内高校生11名をラオスに派遣し、国際協カの人材育成に取り組めた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍ではあったが、計画どおり県内高校生11名をラオスに派遣し、国際協カの人材育成に取り組めた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・ JICAや受託業者など関係機関と連携し、外務省の渡航情報等、海外の安全情報等の把握に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により開発途上国へ派遣が できない場合の代替案を検討する必要がある。	・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、感染症対策を徹底しながら事業を遂行する。コロナ禍であっても参加学生及び同行スタッフ全員が計画どおり海外研修に参加することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	コロナ禍による世界的な状況の変化をはじめ、近年の国際情勢、自然災害などの安全性に注視しつつ、派遣国の選定やプログラムの立案を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	大使館やJICAなどと連携し、海外の安全情報等の把握に努めるとともに、海外派遣が困難な場合を想定した代替案を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ア	国際感覚を身に付ける教育の推進	施策	②多様な国際交流及び国際理解教育の推進
			施策の小項目名	○国際理解教育の推進・充実
主な取組	国際協力理解促進事業（おきなわ国際協力人材育成事業）		対応する成果指標	海外との交流活動等を行っている高等学校数
施策の方向	<p>・グローバルな現代社会においては、多様な文化、価値観を持つ多種多様な人々との接点が多くなることから、多様な文化、価値観を正しく理解して、相手を尊重する国際理解教育の推進に取り組みます。外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖縄等との連携、海外との文化交流等を通じて、異なる言語や文化等について理解を深め違いを尊重する国際理解教育の充実と外国語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った、将来の本県の国際協力を担う人材の育成を目的として、国際協力理解促進事業(出前講座)を実施する。	県	JICA海外協力隊員経験者等を県内中学校・高校に派遣し、出前講座を実施		
		国際協力に関する出前講座の実施校数(累計)		
		20校	20校(40校)	20校(60校)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業			予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	24,403	24,956	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	28,066
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内の中学校・高校において、21校(22回)国際協力等に係る出前講座を行った。				県内の中学校・高校において、合計20校以上で国際協力等に係る出前講座を行う。		

活動指標名	国際協力に関する出前講座の実施校数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		20校	21校	21校	20校	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画を上回る21校において出前講座を実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 県教育庁、JICA等と連携し、国際協力レポーター事業の参加実績がない若しくは年少ない学校への事業周知を促し、R2年度に制作した学習教材の活用により参加実績校を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の高校に広く周知を行うとともに受託者のネットワークを活用して出前講座の呼びかけを行った。 離島を含む21校(22回)において、1,468人の生徒が出前講座を受講した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国際協力レポーターの参加出身校を増やし、参加生徒が自らの体験を発表できる場を広げていくことが重要と思慮される。	⑤ 情報発信等の強化・改善	様々な機会を捉え、本事業の周知を強化していくことで、応募件数の増に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ウ	地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実	施策	①高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実
			施策の小項目名	○地域社会や産業の課題解決を図るための教育、研究、地域貢献を通じた人材育成機能の強化
主な取組	沖縄県立芸術大学の運営支援		対応する成果指標	県内大学の志願倍率
施策の方向	<p>・県内高等教育機関が有する多様な資源やそれぞれの特色を活用し、地域社会や産業における課題解決を図るための教育、研究、地域貢献活動等の積極的な展開を通じて、個人のキャリア形成や非認知能力の向上に資する人材育成機能の充実強化を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公立大学法人沖縄県立芸術大学に対して一般運営費交付金を交付し、その運営を支援することで、中期目標で示す同大学の建学の理念を踏まえた基本目標の達成に資する。	県,沖縄県立芸術大学	沖縄県立芸術大学への交付金の交付による大学運営の支援		
		沖縄県立芸術大学への交付金の交付		
		交付	交付	交付
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）			予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
県単等	補助	1,303,996	1,303,996	主な財源	実施方法	当初予算額	
				県単等	補助	1,296,996	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。				公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援する。			
活動指標名	沖縄県立芸術大学への交付金の交付		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	順調	沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援する。
	交付	交付	交付	交付			

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	一般運営費交付金を交付するにあたり、資金不足等が生じないよう法人の年間を通じた資金需要に配慮しつつ四半期ごとに傾斜配分した額を交付し、運営を支援した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	社会・経済情勢の変化や、沖縄県立芸術大学の財務状況等に留意しつつ、一般運営費交付金を交付する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ウ	地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実	施策	①高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実
			施策の小項目名	○地域社会や産業の課題解決を図るための教育、研究、地域貢献を通じた人材育成機能の強化
主な取組	沖縄県立芸術大学の施設整備支援		対応する成果指標	県内大学の志願倍率
施策の方向	<p>・県内高等教育機関が有する多様な資源やそれぞれの特色を活用し、地域社会や産業における課題解決を図るための教育、研究、地域貢献活動等の積極的な展開を通じて、個人のキャリア形成や非認知能力の向上に資する人材育成機能の充実強化を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県立芸術大学の教育施設としての機能を維持するため、施設整備にかかる費用に対する交付金を交付する。	県,沖縄県立芸術大学	沖縄県立芸術大学の施設整備に対する補助による学習環境の整備		
		沖縄県立芸術大学の施設整備への補助		
		補助	補助	補助
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（施設整備）			予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（施設整備）	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	80,336	119,600	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	143,250
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県立芸術大学の教育施設としての機能を維持するため、施設整備にかかる費用に対する交付金を交付した。				沖縄県立芸術大学の教育施設としての機能を維持するため、施設整備にかかる費用に対する交付金を交付する。		

活動指標名	沖縄県立芸術大学の施設整備への補助		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		補助	補助	補助	補助	100.0%	順調

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
各種施設整備を行い、大学の環境維持に努めることができたことから、順調とした。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の保全・点検を適切に行うことで施設の状態を把握し、優先順位をつけて整備を行う。 ・個別施設計画に基づいた計画的な施設の整備を行う。 ・各専門員（施設管理、情報管理）と連携しながら体制を強化し、継続した予算措置が行われるよう継続して協議していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の保全・点検を適切に行うことで施設の状態を把握し、優先順位をつけて整備を行った。 ・個別施設計画に基づいた計画的な施設の整備を行った。 ・各専門員（施設管理、情報管理）と連携しながら、予算要求を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	開学から30年以上が経過し、施設の老朽化が急速に進んでいるため、施設整備を行っていく各段階において、点検、評価、劣化予測等を行い、個別施設計画に基づき、計画的な施設整備を行う必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	引き続き、施設整備を行っていく各段階において、点検、評価、劣化予測等を行い、個別施設計画に基づき、計画的な施設整備を行う必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ウ	地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実	施策	①高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実
			施策の小項目名	○自らの魅力を高める教育プログラムや教育研究成果の還元による社会貢献活動への支援
主な取組	研究成果の地域社会への還元		対応する成果指標	県内大学の志願倍率
施策の方向	・県内産業を牽引し、地域の発展に寄与できる多様な人材を輩出するため、高等教育機関自らの魅力を高める教育プログラムの導入支援や蓄積された教育研究成果の還元による社会貢献活動への支援等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公開講座等の地域貢献活動・社会連携を通じて、県立芸術大学に蓄積された教育研究成果を社会へ還元する取組を行う。	県立芸術大学	一般県民を対象とした公開講座等の実施による研究成果の地域社会への還元		
		一般県民を対象とした公開講座等の実施回数(累計)		
		21回	21回(42回)	21回(63回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課	【 098-866-2768 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>教育研究成果を社会へ還元するため、公開講座等を実施するとともに、教育研究成果及び高等教育における芸術文化の魅力を広く国内外に向け発信した。</p>				<p>教育研究成果を社会へ還元するため、公開講座等を実施するとともに、教育研究成果及び高等教育における芸術文化の魅力を広く国内外に向け発信する。</p>		

活動指標名	一般県民を対象とした公開講座等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		17回	16回	27回	21回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

公開講座等を27回開催した（芸術文化研究所3講座18回、全学教育センター3講座3回、造形芸術研究科6講座6回）。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き、社会連携センターにおいて、学内の連携活動情報の収集方法について、見直しを行う。	社会連携センターにおいて、限られた人員を有効に活用し、効果を最大化するため、学内の連携活動情報の収集方法について検討を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	地域貢献のあり方や優先順位を整理しながら対応していく必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、地域貢献のあり方や優先順位を整理しながら地域貢献活動・社会連携を行っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ウ	地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実	施策	③産業と高等教育機関等の連携による実践的なキャリア教育の推進
			施策の小項目名	○高等教育機関におけるキャリア教育の促進
主な取組	沖縄県立芸術大学における就職支援		対応する成果指標	新規学卒者（大学・短大・専門学校）の就職内定率
施策の方向	<p>・高等教育機関の学生等が、それぞれの専門分野の知識・技能を生かし職業を通じて社会にどのように関わるかという明確な課題意識と具体的な目標を持ち、それを実現するための能力を身に付けるキャリア教育を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県立芸術大学において、学生へのきめ細かな就職支援を行うため、企業と連携した説明会等に取り組む。	県立芸術大学	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓		
		学内合同企業説明会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
就職支援として、多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行った。				引き続き、就職支援として、多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。		

活動指標名	学内合同企業説明会の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1回	2回	3回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

学生の特性にマッチングできる企業を参集した合同企業説明会は3回実施し、延べ数で企業16社（県内5社、県外11社）が参集した。また、学生、教職員及び保護者向けのセミナー、研修及び講演会等を開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き、学内合同企業説明会は、クリエイティブ系を必要としている県内外の企業に参加を促すことで、就職先のマッチングが図られる取組に繋げていく。	合同企業説明会には県内・県外から芸大の特性に合った企業を招へい。前日に就活ワークショップを開催し、自己分析や自己PRの方法等について支援した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	引き続き、学生が専門性を活かせる就職先を構築するため、合同企業説明会等の就職先のマッチングが図られる取組を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、学生と企業のマッチングを主な目的とした合同企業説明会を継続して行い、学生の就職支援に努める。